

自衛隊をイラク、インド洋から撤退させよう！

—地域から全県へ、そして全国に広めよう—

秋の平和行動第1弾の全県宣伝行動と第2弾の10/21「米軍機くるな秋の市民集会」が具体的に決まりました。お互いに励まし合いながら頑張りましょう！

6台の宣伝カー全県を走る 意気高く県民にアピール！ —秋の平和行動第1弾—

1. 県北地域：ひたちなか・東海・那珂・太田・大宮・日立・十王・北茨城・高萩・大子・旧美和緒川。
担当責任者（岩間・大和田・加藤・川又・小林・人見・福田・藤田・小野瀬）・県の宣伝カー使用
東海村：10/10
日立・十王：10/11・12
常陸太田：10/13・14
美和・緒川：9/25に検討
常陸大宮：10/16
那珂：10/18
ひたちなか：10/22・23
北茨城・高萩：11/5・6
大子：
2. 県央地域：水戸・笠間・大洗・茨城・旧岩瀬
担当責任者：松原・飯村・神長・池田
・県の宣伝カー使用
笠間・旧岩瀬：9/22～23（池田・小野）
水戸・内原：9/24～25（飯村・松原・谷津・円道）
・水戸・大洗・茨城：9/26～28（神長・山本）
3. 鹿行地域：担当責任者（小久保・風間・関口）
潮来市・行方市：潮来市職宣伝カー（風間・小久保）
鹿嶋市・銚田市・神栖市：鹿行民商宣伝カー（関口）
・それぞれ10/1～13の間に約1週間宣伝を実施する（詳細は地域ごとに決める）



宣伝カーを仕立ててくれた神長壮行さんと伊達さん。事務局長の「愛車」？が、宣伝カーに早変わり。当分、50CCバイクで通勤・オルグとなります。

4. 県南地域1：石岡・小美玉・土浦・阿見・美浦・つくば・牛久・稲敷。
・県宣伝カー使用
担当責任者（山口・水野・稲田・植田・町田）
・9/29～10/5の一週間（詳細は後日決める）
5. 県南地域2：取手・守谷・竜ヶ崎・つくばみらい・利根・河内。
・県宣伝カー使用
・担当責任者（杉山・斉藤・根本・花沢・芦田・軽部）
・日時等は各平和委員会の間で調整
6. 県西地域1：筑西・下妻地域
・担当責任者（前田・小林）
・下館市職宣伝カー
・10/6～8、10/13～14
7. 県西地域2：結城・八千代・古河
・担当責任者（叶谷）
・結城市職宣伝カー使用
・10/6・9・13・14：土日祝日を利用して実施。
詳細は後日決める。
8. 県西地域3：境・五霞・坂東
・担当責任者（金子勉・染谷）
・境町職宣伝カー使用
・9/29、10/3。

10/21 米軍機くるな、秋の市民集会に参加を！ —秋の平和行動第2弾—

現在の改憲運動は90年代はじめの湾岸戦争が起こった時、「カネだけでなく血も流せ」とアメリカから要求され、「国際貢献」の美名のもとに自衛隊を派遣させるために憲法9条を変えるという事から始まりました。時の自民党幹事長が今の民主党代表の小沢一郎であった。その後、氏は改憲論まっしぐらに進んだ。参議院選で自民党の大敗北で小沢氏も改憲を言いだしにくくなっていますが今は、要は、憲法改正が国内問題からでなくアメリカの要求で提起されているのが特徴です。

今回、一般の人には分かりにくい日米の軍事問題についてやさしく新原さんに話して頂くことになりました。この機会にぜひ改憲の震源地を学びましょう。

各平和委員会・平和の会は誘い合って参加してください。

日時：10月21日（日）午後1時半～4時半
ところ：県立青少年会館
集会：第1部 講演
テーマ「米軍と自衛隊の戦争計画はここまできている」
日米軍事一体化と「集団的自衛権」
講師 新原 昭治さん（国際問題研究家）
第2部
「実行委員会」の報告と運動・組織強化について
資料代：300円
主催：米軍機くるな茨城実行委員会

平和かわら版

No. 482
月3回 発行
2007.9.25

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会
〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806
E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



ドイツ・ポーランド・ピースツアーに参加して

(1) 戦後処理をめぐるドイツと日本の事情

先日、日本平和委員会が主催したドイツ・ポーランドピースツアーに参加した。1週間の間に2回にわたり、ドイツで活躍する平和活動家らとの交流会が持たれた。両国主催者の努力で参加者は想定を遥かに上回り、ドイツ側からは著名人多数の出席となった。互いの国での軍事基地をめぐる闘いの様子・問題点などが話しあわれたが、なかでも基地が住域に接する日本での基地闘争にはドイツ側から大きな関心が寄せられた。基地を身近に感じる環境にないドイツでは闘争の発展に苦慮している部分もあるようである。私は百里基地での“くの字”に曲がった誘導路と日本国憲



法九条のかかわりと闘いの現況を一坪運動などを織り混ぜ紹介した。写真入りで紹介した資料に対して、「それは日本のどこにあるのか」という質問もだされた。残念だったことは2回とも時間が不足したことである。

ドイツでの平和運動と日本でのその違いは、何といっても国の政治のあり方の差異が顕著であることである。ことさら、過去の戦争に対する姿勢の差にそれが特徴的に見られる。ドイツは第二次世界大戦で、当時3600万人だっ

さくらのまち日立平和の会 古川 義徳

たポーランド国民の20%弱を殺戮したばかりか、ヨーロッパ全土で虐殺数の合計は1100万という数値まである。これらは歴史教科書で既に周知のことであるが、しかし、一方で1970年に当時のブランド首相がポーランドのワルシャワ・ゲットーの記念碑前で献花後にひざまずいたことはあまり日本では知られていない。歴史を心に刻むことを国とするドイツの姿勢はこの時から、今も国をあげて変わらない。過ちを繰り返さないことと他国の平和も同時に考えるということを目指し、今なお、政府と企業からの基金などで被害国に対して賠償をし続けている。強制労働被害に対する賠償額は、2006年時点で総計およそ43億ユーロ（約6800億円）に及んだ。

また、国内における公立の記念館には、ナチ収容所跡をはじめ、抵抗運動を闘った人々の顕彰施設なども数多く存在する。そして、ドイツ国民が日々多数訪れ学んでいる。

日本では、近現代で平和のために闘い殺された人々の数は2000人を超すといわれるがそれらを顕彰する施設は、現在、公立では皆無だ。国の政治の差があまりにも著しい。

(次号に続く)



北関東 憲法 フォーク ジャンボリー

ほんじゃ 北関東でも 戦争の放棄すっぺ

日時 10月7日(日) 開場 13:00 終演予定 17:00
場所 結城市民情報センター

3階多目的ホール

ゲスト 笠木 透と雑花塾

出演 茨城ーヒューマン・ファーマーズ/マザー・ウォーター/茨城のうたごえ協議会
栃木ー小野操と仲間たち/ワイルドフラワーズ/えりのあ
群馬ーヨロコネだぶっち/チエ/館林ロストシテイランブラーズ 他

参加費 2000円 (当日2300円)

主催 かるちあ農園

北関東憲法フォークジャンボリー実行委員会

連絡先 北嶋 誠 Tel、Fax 0296-35-0931

地元茨城をはじめ、埼玉、群馬、栃木で演奏活動をしている個人、団体に参加を呼びかけています。



10月13日(土) 13:30 ~ 18:30 ~

上映会場: 東海村文化センターホール

主催: 九条の会東海準備会

/映画「日本の青空」東海上映実行委員会

推奨: 東海村/東海村教育委員会

問い合わせ先: 相沢(282 3619) 大名(284 0761)

加藤(282 9067) 川崎(282 0229) 佐藤(282 3831)

塚原(282 9357) 服部(282 7700)

編集後記
この夏、平和特別句
間を取り組み、いま、秋
の平和行動第1弾の全
県の宣伝行動が始まっ
た。第2弾の2021年
軍機くるな秋の市民集
会も具体化した。第3
弾は2022年の9条の会交
流会、第4弾が新聞意
見広告と続く。10年
前には想像もつかない
平和委員会の姿。会員
ひとりひとりの思いを
さらに大きな運動に向
けていこう。(だ)